

【これまでの経過】

◆経過

合併後の4者連携を中心とした西の湖に関する議論等の経過については以下のとおり。

平成 22 年 3 月	旧近江八幡市・旧安土町合併
平成 23 年 4 月	四者連携協定締結（市、滋賀県立大学、近江八幡商工会議所、安土町商工会） （平成 23 年 11 月）近江八幡市まちづくり懇話会において「安土・八幡を結ぶ西の湖を廻遊するアクセスの整備」が提言される
平成 27 年 3 月	近江八幡市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定 「八幡－安土の連携強化と新たな拠点整備」をまちづくりの方向性に位置付け
平成 29 年 6、10 月	西の湖廻遊路計画推進に関する協議会（商工会議所の呼びかけで開催） 〔参加者〕 県、県商工会連合会、市、商工会議所、商工会
平成 30 年 9 月 ～平成 31 年 3 月	地域資源活用まちづくり会議（四者連携協定の枠組みによる） 以下、3つの提案がまとめられた。 ・「西の湖」（よし笛ロード）の活用・活性化に向けた提案 ・琵琶湖保全再生に向けての提案 ・「かわまちづくり」支援制度（国土交通省）の活用提案
平成 31 年 3 月	近江八幡市第 1 次総合計画策定 「豊かな自然、歴史、文化を守り・活かし、未来に引き継ぐ」の基本目標に位置付け
令和 2 年 3 月	第 2 期近江八幡市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定 施策の基本的な方向性である「地域の魅力に触れることのできる働く場所の創設」「地域資源を活かした新たな人流れの創出」「歴史文化の保全と活用」に位置付け

◆これまでの会議等において、取りまとめられた課題

西の湖廻遊道路計画推進事業に関する協議会現地調査レポートまとめ（H29.4.17 実施）

	課 題
①自転車道路 「びわ湖よし笛ロード」	①亀裂等破損箇所の補修。 ②自転車と歩行者がどちらも通行するには、道路幅員が狭い。 ③「自転車道路」として認識されているとは言い難い。標識等を含めて分かり難い。 ④一部、市街地を通行しなければならず、「西の湖」に特化した魅力的なコースではない。 ⑤道路の総点検と修繕に必要な予算措置が喫緊。 ⑥「自転車道路」から市内観光施設等への誘導策が不足。
②トイレ・休憩所	①老朽化による整備。併せて維持管理の問題。 ②休憩ポイント、トイレが不足している。
③治安の問題	①街路灯がなく、暗い箇所が多い。
④周辺道路整備	①河川法・農振法等の規制の関係から、県と連携して周辺地権者の意向を聞きながら西の湖周辺の道路整備を行なう必要がある。 ②周辺は農道が多いため、一般車輛の安全確保・整備が必要。 ③西の湖園地が通りから離れていて分かり難い。
⑤水質の悪化	①イケチョウガイなど従来生息する生き物の生態系の変化や、ホテイアオイなど水生植物の枯渇、堆積によるヘドロの沈殿に対する水質浄化。
⑥景観	①濁流ゴミによる景観の破壊。 ②沿道の倒木などの処理・管理。 ③放置されている「ヨシの保全」 ④安土豊浦港の沈没船が景観を壊している。
⑦その他	①他の観光地との回遊・連携が不足している。 ②「重要文化的景観」第1号選定が、市民に浸透・活用ができていない。 ③「西の湖」周辺の自然・動植物などの資産認知度が低い。 ④「自然と人」をテーマとした芸術・文化活動の舞台としての利用方法。

※視察ルート：①西の湖園地 → ②貸農園 → ③県浚渫土置場 → ④西の湖すてーしょん → ⑤B & G海洋センター → ⑥大中町交差点 → ⑦貸ポート

